

前橋市立前橋高等学校

めぶく

地域活性化プロジェクト




探究通信
めぶく10号
R4.3.14

人生における「正解」とは

1年生に向け、キャリア講演会を実施

「こんなご時世だからか、まわりには挑戦しようという人が多い。しかし、未来の自分のために今つかめるチャンスは逃がさない方が良いと感じた。恐れずに行動しようと思う」

3月3日(木)本校メインアリーナにて「キャリア講演会」を行った。冒頭の文章は講演会終了後に1年生徒が記した感想である。



講師とともに大学生（本校卒業の現大学1年生）も登壇した



本講演会は10年後にやりたい理想の姿を考えることから、自分と向き合い、理想に近づくために具体的に「今」を充実させていくためのきっかけとなったようだ。講師には、本校の探究学習においてご支援をいただいている、高大接続

キャリア講演会の中での問題提起として「私は人生の『正解』が欲しい」という新聞の投稿が紹介された。確かに正解、不正解といった二元論で考えればわかりやすいのだが、その時「間違い」だと思った道が「正解」に変わるのが人生のおもしろさではないだろうか。卒業していく全員が思い描いた進路を歩むわけではない。ゲストとして迎えた学生も然りだ。しかし、自身の今を在校生に語る横顔は、元担任を安心させるのに十分だった(む)

大学で見つけて、それに真面目に正面から向き合っていくことが格好いいと思った」「自分で選んだ道を正解と言えようように全力を尽くした(生徒の感想は一部改訂)。

たい。未来のことは誰にも分からないから、今できる最善を尽くすことが大事」

など前向きな感想が目立つた(生徒の感想は一部改訂)。

「地域探究プログラム」全国ステージ

三森君、金賞(機構特別賞)を獲得



12月(関東)甲信越プロジェクトを勝ち抜いた2年生の三森幹太君が発表を行い、金賞(国立青少年教育振興機構特別賞)を獲得した。

2月13日(日)、全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」全国ステージの発表であった。三森君は探究通信第8号でも触れたように、安中市碓氷峠にて観光ボランティア(主に歴史ガイド)を行う中で、見えてきた地域課題をどのように具体的に解決していくか(また、実際に動いているか)という内容をまとめた「Step out YOKOKAWA」数百年の時を経てみえた、鉄道のまちの新しい観光政策」を発表した。

キャリア講演会



全国ステージ



カメラが好き、鉄道が好き、動画編集が得意…。自分の好きなことを究め、それを地域活性化につなげようとしている彼の姿は人を惹きつけた。始めは個人で活動していたが、今は仲間も増えた。彼が自作した観光リーフレットには本校の仲間たちが写っている。地元メディアに取り上げられる機会を通して、安中市をはじめとする様々な機関や人々から「応援したい」「活動を共にしたい」などたくさんの連絡をいただいた。彼の、そして仲間たちの今後の更なる活躍を期待する。今回取り上げた記事は共に上毛新聞、群馬テレビにて紹介された。